

副本

平成24年(ワ)第3671号, 平成25年(ワ)第3946号, 平成27年
(ワ)第287号, 平成28年(ワ)第79号, 平成29年(ワ)第408号,
平成30年(ワ)第878号

大飯原子力発電所運転差止等請求事件

原告 竹本修三 外3313名

被告 関西電力株式会社 外1名

証 拠 説 明 書

(丙316~317号証)

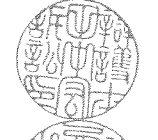
令和元年11月21日

京都地方裁判所第6民事部合議はB係 御中

被告訴訟代理人 弁護士 小 原 正 敏



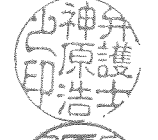
弁護士 田 中 宏



弁護士 西 出 智 幸



弁護士 神 原 浩



弁護士 原 井 大 介



弁護士 森 拓 也



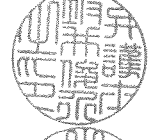
弁護士 辰 田 淳



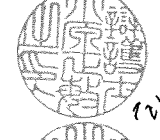
弁護士 畑 井 雅 史



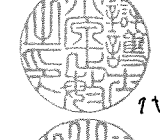
弁護士 坂 井 俊 介



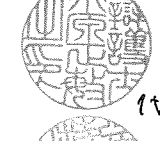
弁護士 山 内 喜 明



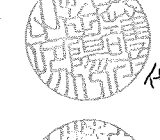
弁護士 谷 健 太 郎



弁護士 酒 見 康 史



弁護士 中 室 祐



弁護士 持 田 陽 一



号証	標 目 (原本・写しの別)		作成年月日	作成者	立 証 趣 旨
丙 316	あくなき安全性の 追求 巨大地震に 備える	写し	R1.11.7 (ウェブ サイト)	被告関西電力 株式会社	被告関西電力株式会社は、大 飯発電所3, 4号機を軟らか い地盤上ではなく、堅硬な岩 盤に建設していること等
丙 317	第189回国会衆議 院原子力問題調査 特別委員会議録第 3号(抜粋)	写し	H27.4.23	衆議院	原子力規制委員会の田中俊一 委員長(当時)が、衆議院原 子力問題調査特別委員会にお いて、基準地震動の評価手法 について発言した内容